

平成26年度 苫前町の決算

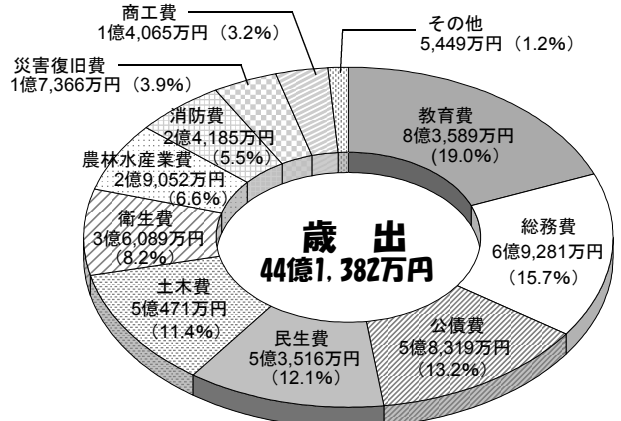
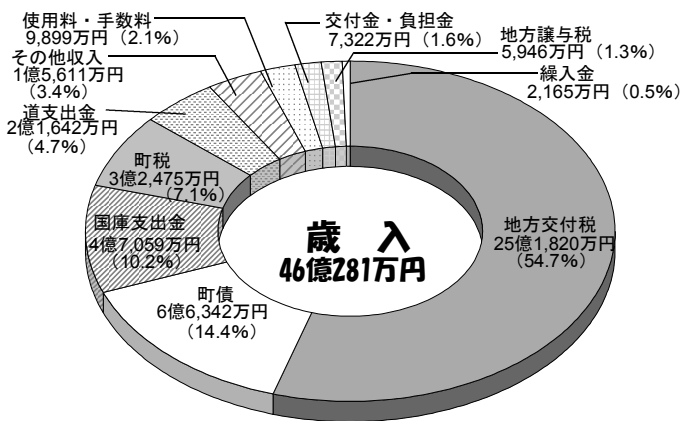
平成27年12月

苫前町長 森 利 男

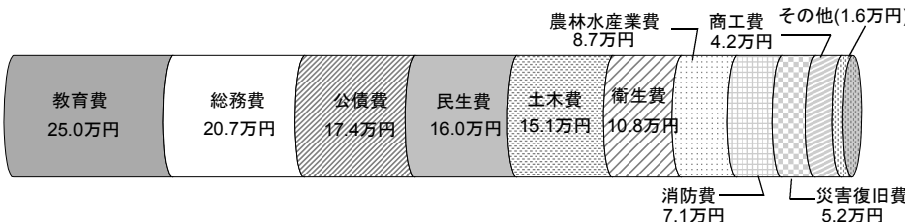
町では、年2回まちの財政事情を公表しています。今回は、平成26年度決算についてお知らせいたします。

一般会計

平成26年度一般会計の決算状況は、歳入総額46億281万円に対し、歳出総額44億1,382万円となり、翌年度への繰越財源を除いても1億5,980万円の剰余金が発生し、前年度に続き黒字決算となったことから赤字補てんのための基金繰り入れは行わず、収支黒字分1億5,500万円を財政調整基金に積み立てることができました。主な増減内容ですが、歳入では国庫支出金が2億3,099万円の増、町債が4億3,156万円の増で、総額は前年度決算よりも4億7,439万円の増額となりました。また、歳出では公債費（借金の返済）が8,739万円の減となったものの、教育費が4億9,124万円の増、災害復旧費が1億5,365万円の増となり、総額で4億8,706万円の増額となっています。歳入歳出の主な増額要因として、歳入では古丹別小学校改築に係る経費に対する国からの補助金、町債の増、歳出では古丹別小学校改築事業費、8月の豪雨災害による復旧事業費の増などが挙げられます。



◆町民一人に使われたお金は？ <総額 131.8万円>



◆わが町の貯金は？

| 基金等の種類 | 残高 (万円) |
|----------------|----------|
| 財政調整基金 | 14億3,584 |
| 減債基金 | 3億7,525 |
| 国鉄羽幌線代替輸送確保基金* | 3億6,258 |
| 文化振興基金 | 384 |
| 公共施設等整備基金 | 8億3,299 |
| まちおこし基金 | 658 |
| 地域福祉基金 | 1億3,801 |
| 産業振興基金* | 1億3,136 |
| ふるさと基金 | 3,650 |
| 特別会計の基金 | 1億7,897 |
| 備荒資金組合納付金 | 10億1,776 |
| 合計 | 45億1,968 |

◆わが町の借金は？ (平成27年5月31日現在)

※公営企業債については、利息を含む。

| 種別 | 残高 |
|---------|------------|
| 町債 (元金) | 41億3,152万円 |
| 〃 (利息) | 2億3,772万円 |
| 債務負担行為額 | 7億7,709万円 |
| 簡易水道債 | 6億1,224万円 |
| 下水道債 | 16億6,215万円 |
| 風力発電債 | 860万円 |
| 合計 | 74億2,932万円 |

◆わが町の財産は？

| | |
|-----|-----------|
| 建物 | 72,358㎡ |
| 土地 | 1,501万㎡ |
| 出資金 | 1,217万円 |
| 貸付金 | 0万円 |
| 物品等 | 5,173万円以上 |

◆財政指標

| 区分 | 比率 | 説明 |
|----------|-------|--|
| 財政力指数 | 0.123 | 財政基盤の強弱を示し、標準的な行政活動に必要な財源をどれくらい調達できるか表しています。 |
| 経常収支比率 | 76.9% | 人件費等の経常経費に、町税、地方交付税等の経常的な収入が充てられている割合を示します。 |
| 実質収支比率 | 5.61% | 標準財政規模(一般財源の標準的な規模を示す数値)に対する実質収支の割合を示します。 |
| 実質赤字比率 | — | 一般会計における実質赤字の標準財政規模に対する割合です。 ※黒字なら「-」となります。 |
| 連結実質赤字比率 | — | 町の全ての会計における実質赤字の標準財政規模に対する割合です。 ※黒字なら「-」となります。 |
| 将来負担比率 | — | 町の全ての会計において将来負担すべき実質的な借金返済の標準財政規模に対する割合です。 ※算定されない場合「-」。 |
| 実質公債費比率 | 8.3% | 標準的な財政規模に対する実質的な借金返済(公営企業の借金返済等を含む)の占める割合です。 |
| 起債制限比率 | 3.0% | 標準的な財政規模に対する借金返済の占める割合です。 |

※印は貸付金を含む